

天草経済開発同友会機関誌



創刊号

せいく

編集兼発行者 天草経済開発同友会 会長 中川 竹治

事務局 〒863-0002 熊本県天草市本渡町本戸馬場2179-1  
TEL: (0969) 24-3325 FAX: (0969) 23-0044

五月の定期総会において、再び会長  
の要職をお引き受けることになり  
ました。もとより浅学非才ではありま  
すが、ふるさと天草のために微力なが  
ら全力を尽くして勤めさせていただ  
きますので、会員皆様のご協力をよろ  
しくお願い申し上げます。

今年度より天草経済開発同友会では、  
会報を発刊することにしました。  
会員皆様に、会の活動をより知って  
もらい、ご理解をいただきたいと思  
い創刊しました。

昭和四十九年十二月、天草経営研  
究会が発展解消され、天草経済同友会  
が設立されて以来、偉大な諸先輩方は  
さまざまな天草の問題に積極的  
に組んでこられました。

昭和五十六年一月には、「荅北火力  
発電所に寄せる期待と提言」を発表、  
昭和六十年四月には、天草から優秀な  
人材を送りだすべく高校三年生を対  
象とした「青藍塾」を開塾、大きな成



天草経済開発  
同友会 会長  
中川 竹治

## キーワードは人づくりと意識改革 天草の二〇〇年の計を目指してスタート

果を挙げました。会員向けには企業の  
幹部社員研修、新入社員研修など会  
員企業の繁栄を目指して活動してき  
ました。

永い歴史の中でもっとも強烈に印  
象に残るのは、平成二年一年間に亘り  
四回（四月、六月、九月、十二月）開  
催された「天草を考え天草を創る地域  
シンポジウム」です。このエネルギーは  
考えてもすごいものでした。私にとつ  
てもこの一年間は大変貴重な時間であ  
り、多くの学びを得ました。平成七年  
九月には、「天草空港に関する要望  
書」を県知事に提出、シンポジウムと  
相まって、天草空港の開港に大きく貢  
献いたしました。このように天草の節  
目節目に積極的に大きくかわって  
きました。

これら諸先輩方の活動を引き継  
ぎ、天草の発展に役割を果たして行  
きたいと決意を新たにしています。こ  
れまでも経営、経済の勉強はもとより、  
自然エネルギーの問題、観光のあり  
方など例会や委員会を取り上げていた  
できました。昨年「本渡みなとまちづ  
くりプロジェクトチーム」をつくり一年

間に十回の会合を開催し検討してき  
ました、さらに今年は地域開発委員  
会を中心に地元住民、漁協等との連  
携を諮りながら市民協議会を立ち上  
げ、行政と協働し天草地域の発展に  
繋げて行きたいと考えています。また  
合併して六年目に入りましたが天草  
には課題が山積しています、しかし方  
策は遅々としてすすみません。天草を  
考えるとき、地域力を伸ばす方法を  
考える必要があります。一般的なパ  
ロメーターは、経済・人口、しかし誇り  
や幸福感も大切です。両者のバランス  
が必要です。地域資源と人間力、今私  
たちに出来ることは人間力の増進で  
はないでしょうか。

キーワードは”人づくりと意識改  
革“新しく若手の会員だけで「二〇〇  
年委員会」を創りました。漢詩に「二  
〇〇年の計は人を植えよ（つくりなさ  
い）」とあります。天草の二〇〇年の計  
を目指してスタートします。経営情報  
委員会、観光促進委員会でも様々な  
問題に積極的に取り組んでいただき  
行動を起こしていただきたいと思  
います。持続可能な天草を創ること  
が、私たちに課せられた責務であり、  
ふるさと天草が元氣を取り戻すこと  
が会員企業の繁栄につながると確信  
しております。

### 7月 委員会報告

## A列車で行こう



観光促進委員会  
委員長  
横島 龍一

J R九州が天草下島に力を入れる最後  
のチャンスです。

少なくともそう考えて地元との連携  
を強化し、何が出来ると考え行動しな  
ければいけないと思います。

そこで観光促進委員会では、気運を盛  
り上げ意識を高めようとJ R九州の方を  
お呼びしてお話を聞きその後、地元のキ  
ーマンをお呼びしてのパネルディスカッ  
ションを行いました。そこで色々なキ  
ーワードが出てきました。「ディープな天草」「ス  
ローな天草」「酒」「J A Z Z」「Aにこだわ  
る」などなど。天草下島自体を「明確な目  
的地化」にしなければお客様は来ないとい  
う意見も出ました。

十月からの運行なので、それからでも  
ハード面は少しずつ整備しなくてはい  
けないでしょう。まず出来ることは、ハ  
ード整備ではなくソフト面の改善、それ  
は「人」だと思えます。シークルーズで本渡港に着  
いたときの「天草女将の会」のお出迎  
えから、送迎の運転手や観光案内人との  
ふれあい。宿にチェックインされてから  
も、スタッフの優しさやおもてなしを感  
じ、



観光特急「A 列車で行こう」は 2 車両編成。熊本  
～三角間を結びます。停車駅は熊本駅、宇土駅、  
三角駅の 3 駅。土休日を中心に、1 日 2 往復。

ちよつとした気遣いで感動に繋が  
たりするものです。更には、特に天草でもキ  
ャラが濃い人達に出会わせることは重要  
であると考えます。「万五郎どん」と「  
亀さん」です。是非ツアーにこの方々  
と出会う機会を設けて頂き、天草の人  
臭さにふれてファン確保に繋げたい  
ものです。

また、今回は J A Z Z スタンド  
ナンの「A 列車で行こう」がタイ  
トルとなつていただけに音楽は欠か  
せないと思います。実は、天草の音  
楽事情はレベルが高い事でも有名  
です。特に吹奏楽は、県でもトップ  
レベルの実力があるので、協力し  
て頂く手はないと思います。是非、  
J A Z Z スタンドはじめ、素晴らしい  
音楽を観光に求められお客様に堪能  
頂けると広がります。更には、霧  
開きづくりに合わせてハード整備  
の環として港の倉庫（J A の米蔵）  
などの活用は、時間をかけてでも  
行うべきだと思います。

このように「A 列車で行こう」は、  
夢を運んでくれます。その夢を  
現実にするのは私たちの役目  
です。意識を持つて楽しい事  
が出来ればと思います。  
頑張ります。

### コラム 宝磨ぎの 仕掛け人たち



亀子 研二

天草五橋ができて（一九九六年九月二十  
四日開通）、観光客が一挙に五〇〇％ア  
ップ。おもてなしを云々している暇もな  
い状態で、観光地天草は走り始めた。そ  
んな中で多くの手造りの観光イベント  
や事業が開催された。

新しい事業やイベントの出現には、必  
ずそれに関わった人達がいます。アイ  
デアマン、パシリテイター、資金担  
当、組織担当、親分肌のリーダーなど。  
世間に知られた人も、知られない人も  
いる。

牛深ハイヤ祭り・天草国際トライアス  
ロン・天草殉教祭・観光朝市・天草  
しろろザリオウオーク・天草花しょう  
ぶ祭り・さざなみフェスタ・天草  
ほんど夏祭り（ハイヤ、花火）・天草  
五橋祭・天草マラソン大会・天草大  
陶磁器展・牛深あかね市・天草  
ロードレース・御所浦ジョパーク・  
シーカヤック体験・天草タコパ  
ル・天草食の祭典・観光ボランティア  
ガイド等々枚挙に暇がない。

そんな中で、旅行会社が送客の要に  
しているのが、平成四年から始まった  
イルカウォッチングである。高知生  
まれの髭さんが提唱し、数名の漁師  
を誘って細々とはい

めた。いまや天草を代表するキラ  
ーコンテツである。

年々ウォッチング熱が高まるにつ  
れ、業者同士や漁師との軋轢、ワ  
ッチング船の起こした事故、イル  
カへのストレス等このまま放置す  
れば有明海域からいなくなる恐  
れがある。イルカあつてのウォ  
ッチングだ。ハワイ諸島と同じよ  
うな恵まれた環境と条件を備えた  
世界に誇れる天草の海。

天草のイルカウォッチングを今後  
更に推進するためには、関係業者  
・観光協会・自治体（市町）・海  
保などを含めて、自然との共生を  
図る旅の文化創造、生態系観光推  
進の理論に適った開発（エコー  
リズム）を進めるべきではないだ  
ろうか。世界のイルカウォッチ  
ング国の人達から失笑を買うこと  
の無いように、ゆつくり、ゆつ  
くり、「質の高い大人の旅」のワ  
ッチングはできないものだろう  
か。それが出来れば、買い物観  
光に頼らない中国の富裕層を取  
り込むことも可能ではないだ  
ろうか。

### 編集後記

中川会長自ら決定し、筆した天草  
経済開発同友会会報誌のタイ  
トルは「正鵠（せいこく）」。  
弓の的の中心にある黒点・的  
の中心。物事の急所や要点を正  
確につくという意味があります。

この思いの下、全会員で同友会  
を天草を大いに盛り上げてゆき  
ましょう。